

2013 年 10 月 7 日

報道関係各位

第 12 回 JCF 学生映画祭実行委員会
事務局長 沢田隆二



第 12 回 JCF 学生映画祭 in Tottori

2013 年 10 月 14 日(月・祝)、いよいよ開催！

コンペティション 3 部門<学生映画 AWARD><学生アニメ AWARD><学生マンガ AWARD>
に全国から 445 作品が集結！

各部門の最終選考作品（入賞作品）が本日決定！

第 12 回 JCF 学生映画祭当日にグランプリ上映&表彰式を開催！



JCF 学生映画祭特別企画「第 0 回ジャパンコンテンツフォーラム」も同時開催！

謹啓 時下益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は当映画祭に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

鳥取県殿の助成事業として、今年で 3 回目の鳥取県米子市での開催を迎える JCF 学生映画祭ですが、地元の方々に多大なるご支援とご協力をいただき、2011 年以降開催運営を行うことができて参りましたこと、誠に有難く、改めて心よりお礼申し上げます。

過去 11 回の開催を【学生の才能の発掘と育成】がテーマの当学生映画祭でございますが、本年は、2013 年 10 月 14 日(月・祝)、米子コンベンションセンター小ホールと、DREAM STAGE PASS(アルファビル 5F)の 2 会場で展開させていただきます。

学生作品のコンペティション部門については、昨年の【マンガ王国・とっとり】の建国に際し、従来の映画部門、アニメ部門に加えて、本年は「学生マンガ AWARD」を新設させていただき、開催地のサブカルチャーイベントの連携組織・YONAGO WONDER に参加して開催させていただきます。

本年は 3 年目にして「コンテンツタウン・米子」が定着しつつあることも追い風となり全国の学生から「学生映画 AWARD」255 作品、「学生アニメ AWARD」128 作品、「学生マンガ AWARD」62 作品、あわせて 445 作品の応募がございました。各部門の審査員による事前審査により、最終選考作品（入賞作品）が決定いたしました。

※詳細は別紙①にてご案内します。

2013 年 10 月 14 日(月・祝)に、米子コンベンションセンター小ホールでの入賞作品上映と、DREAM STAGE PASS において、各部門グランプリの発表と表彰式を行わせて頂く予定です。

また、今年は特別上映作品は 2 作品あり、「ふるさとがえり」（監督 林弘樹）と
「石巻市立湊小学校避難所」（監督 藤川佳三）を、招待上映としました。

※詳細は別紙②にてご案内します。

また鳥取県の公的な助成により3年目を迎える当学生映画祭も、県の戦略と呼応し、地域活性化につながる、産業としてのコンテンツビジネスの定着と発展への寄与を目指してまいりたいと考えております。

鳥取県として、本年、映画祭の開催日である10月14日にマンガ王国秋葉原倶楽部が開設され、県コンテンツ産業の東京マーケット・全国マーケットへの展開を目指される中、2014年度より、当学生映画祭は、鳥取県においては、「**ジャパンコンテンツフォーラム&FESTIVAL**」[JAPAN CONTENTS FORUM&FESTIVAL]へと発展的拡大を遂げ、県コンテンツ産業の海外展開を担うことを目標に開催できればと考えております。

「**ジャパンコンテンツフォーラム&FESTIVAL**」[JAPAN CONTENTS FORUM&FESTIVAL]は、株式会社中海テレビ放送殿、DARAZFM(NPO法人喜八プロジェクト)殿、社団法人山陰コンテンツビジネスパーク協議会殿との共催を予定しており、株式会社ガイナックス殿にも特別協力を頂き、地元と連携して、コンテンツを「いかに、世界へ売っていくか」というコンテンツの海外流通をテーマに、地元の若手クリエイターの挑戦するステージとして機能させることはもちろん、日本中の中堅・新鋭クリエイター企業、もしくは個人のプロ、アマ問わない、コンテンツビジネスの場として、鳥取・米子のビジネスミーティングの一大イベントとして根づかせることが出来ればと考えております。また、「クリエイター」と、「投資家」「企業」の、これまでにないビジネスマッチングの場としても機能させることで、鳥取県において、まんが・アニメを中心とする新たなコンテンツビジネスが創造され続けるフレームの構築を目指して参りたいと考えており、本年より第12回JCF学生映画祭の特別企画として、「**第0回ジャパンコンテンツフォーラム&FESTIVAL**」を開催し、2014年につながるスキーム構築に挑みたいと考えております。「第0回ジャパンコンテンツフォーラム&FESTIVAL」では、鳥取開催の初年度であります2011年の第10回JCF学生映画祭で開催した、「**ヨナゴ クリエイティブブリッジ フォーラム**」を全県に発展させて「**トットリ クリエイティブブリッジ フォーラム**」と題して、鳥取県各地のサブカルチャー関連の実力派イベントの代表者の方々やサブカルチャーによる町おこしの成功事例をもつ境港市様にご参加頂くことを予定しております。

下記にて詳細をご案内いたしますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

<「第12回JCF学生映画祭 in Tottori」開催概要>

- 名称：第12回JCF学生映画祭 in Tottori <http://jcf.jpn.com/>
- 開催日時：2013年10月14日(月・祝)
- 開催場所：米子コンベンションセンター

〒683-0043 鳥取県米子市末広町294 TEL. 0859-35-8111

DREAM STAGE PASS(アルファビル5F)

〒683-0812 鳥取県米子市角盤町 1-27-6 アルファビル 5F

- 主催：JCF 学生映画祭実行委員会
- 共催：一般社団法人学生のチカラで日本を元気に！夕張映画祭 2012-2014 実行委員会
- 制作運営：JCF 学生映画祭運営事務局
- 協力：NEWWAVE、ドリームキッド、夕張映画社、ライフエンタテインメント、JCF、GMHoldings
- 特別後援：鳥取県
- 後援：米子市、鳥取県商工会連合会、公益財団法人鳥取県文化振興財団、毎日新聞鳥取支局、朝日新聞鳥取総局、読売新聞鳥取支局、日本海新聞、山陰中央新報社、NHK 鳥取放送局、BBS 山陰放送、エフエム山陰、中海テレビ放送、日本海ケーブルネットワーク
- 米子パートナー：米子映画事変、社団法人山陰コンテンツビジネスパーク協議会、DREAM STAGE PASS

【イベント内容】

■ 本企画（会場：米子コンベンション小ホール）

- 特別招待映画上映（2 作品 詳細は別紙にてご案内いたします。）

- ・作品名：「ふるさとがえり」（監督 林 弘樹）

- ・URL：<http://hurusatogaeri.com/>

- ・上映時間：11：30 ～（135 分）

- ・作品名：「石巻市立湊小学校避難所」（監督 藤川 佳三）

- ・URL：<http://www.minatohinanjo.com/>

- ・上映時間：14：30 ～ 上映（135 分）

- 学生映画 AWARD の受賞作品の上映（優秀 6 作品上映）

※ 学生映画 AWARD 審査委員長 沢田隆二（夕張映画祭 2013-2014 実行委員長、YONAGO PICTURES 代表）

- 学生アニメ AWARD の受賞作品の上映（優秀 3 作品上映）

※ 学生アニメ AWARD 審査委員長 赤井孝美（イラストレーター、プロデューサー・米子映画事変委員長）

- 学生マンガ AWARD の GP 作品は当日発表

※ 学生マンガ AWARD 審査委員長 寺西竜也（漫画家）

- 入場料：無料（入退場自由）

※学生作品は上映会場が変更になることがございます。当日係員にお尋ねください。

■ 特別企画（会場：Dream Stage Pass アルファビル5階）

＜第0回ジャパンコンテンツフォーラム&FESTIVAL Tottori creative bridge フォーラム＞



- 開催日時：2013年10月14日（月・祝） 15：00 ～
- 開催場所：『DREAM STAGE PASS』（米子市角盤町1丁目27-6 アルファビル5F）
- 開催担当：JCF 学生映画祭&第0回ジャパンコンテンツフォーラム&FESTIVAL 運営事務局
- プログラム：
 - 15:00～ YONAGO PICTURES 構想プレゼンテーション YONAGOPICTURES 代表 沢田隆二
 - 17:00～ 「 Tottori creative bridge フォーラム 」

＜パネリスト（敬称略）＞

（YONAGOWONDER！運営委員会委員長 赤井孝美×境港市産業部通報観光課課長木村晋一 ×中華コスプレ・プロジェクト代表古川哲次× YONAGOPICTURES 代表 沢田隆二 ）

18:00～ YONAGOWONDER Finale & JCF 学生映画祭表彰式・GP 上映

詳細スケジュールはこちら

(http://www.jcf.jpn.com/12th_2013/event/index.html)

以上

■この件に関するお問い合わせは

〒151-0051 東京都港区赤坂 1-1-7 細川ビル 7F

TEL： 03-5775-2661 ※留守でも折り返します。 FAX： 03-5775-0672



第12回JCF学生映画祭実行委員会 事務局

JCF学生映画祭特別企画 第0回ジャパンコンテンツフォーラム&FESTIVAL運営事務局

事務局長 沢田隆二（サワダリュウジ） まで

※ お急ぎは 090-3775-3093 沢田（サワダ）

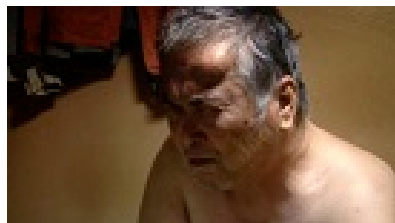
<別紙① 各部門入賞作品>

■学生映画 AWARD 優秀 6 作品（応募作品数：255 作品）

・泥沼BABY！！（監督：野口克樹・立命館大学 3 年／13 分 50 秒／コメディタッチの作品でキャストも飽きのこない個性的なキャストで自由な空気感が好感を呼ぶ作品）



・漁火（監督：沢田啓吾・日本映画学校卒業／42 分／監督の叔父を一年間追ったドキュメンタリー映画で重たいテーマ挑戦している。）



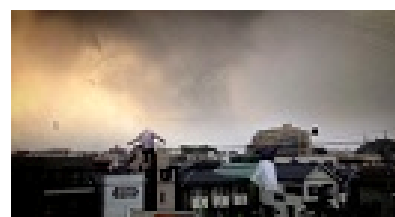
・クライシシ（監督：瀬崎元高・立教大学 3 年／34 分 4 秒／終始シリアスで現代的なタッチの作風でイマドキ感を最も感じる作品）



・River in the Desert（監督：石井壮太郎・慶應義塾大学 4 年／10 分 15 秒／10 分の中にダイナミックな作風と少年リバーの心境の変化が見ものの作品）



・服人間（監督：高橋良多・早稲田大学 4 年・川口芸術学校／5 分 40 秒／非常に抽象的で感覚的な表現が実に面白く新感覚ムービーと言える作風に注目）



・ユメゾラ（監督：山本悠太・東京情報大学 4 年／60 分／いわゆるきれいな空気感と、さわやかさが全体を包む作品で、身近なテーマに取り組んでいるため引き込まれる作品）

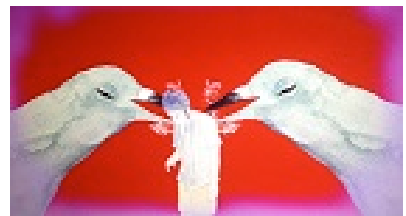


■学生アニメ AWARD 優秀 3 作品（応募作品数：128 作品）

・LIFE LINE（監督：西村丞二・デジタルハリウッド大学 3 年／2 分 16 秒／フル CG の作品であり、メッセージ性も強く力強い作品である）



・あたま、パンク（監督：鈴木和馬・アートアニメーション小さな学校昼間部 1 年（日本大学芸術学部卒）／2 分 53 秒／選曲の良さや、テンポ、映像も独創的な作品）



・スイートレモネード（監督：館山苑佳・札幌マンガ・アニメ学院／7 分 29 秒／いわゆるアニメの王道的恋愛ストーリーでかわいらしさがにじみ出る作品である）



■学生マンガ AWARD（応募作品数：62 作品）

※ 学生マンガ AWARD は、開催当日グランプリのみの発表となります。

＜別紙② 特別上映作品＞

■作品名：「ふるさとがえり」（監督 林 弘樹）

・林弘樹監督プロフィール

1974 年生まれ、さいたま市出身、獨協大学外国学部英語学科卒。卒業後、助監督として黒沢清、北野武監督等の元、現場で働く。2003 年 28 歳で映画会社 FireWorks 設立。日本中を元気にする映画「らくだ銀座」にて監督デビュー。国際映連公認・A 級世界十大映画祭にも招待され、評価を受ける。全国各地での地域密着型映画製作で、今まで数十万人の人を巻き込み、日経地域情報化大賞 2005MJ 賞、地域づくり総務大臣賞受賞。経済産業省キーパーソン研究会委員、内閣府地域活性化伝道師、「未来を創る図書館」プロデューサー、全国公民館応援団長にも任命される。公開中の作品は、約 6 年半かけて創られた渾身の作品、映画「ふるさとがえり(2011)」。

最新作「空飛ぶ金魚と世界のひみつ(2013)」は、9/28 より全国劇場公開。

・あらすじ

助監督をやめ、生まれ故郷の「栗里町」へ帰った相田勘治は、久しぶりに再会した幼なじみの仲間
に強引に地元の消防団に入団させられる。20 年前、亀を助けた 4 人の子どもたちの物語と交
差しながら、消防団活動にひたむきに取り組む旧友たちの姿に勘治の心も少しずつ変わっていく
……。岐阜県・恵那市の風光明媚な風景もまた、見ものです。

• U R L : <http://hurusatogaeri.com/>

・上映会場：米子コンベンションセンター小ホール（鳥取県米子市末広町 294）

・上映時間：11：30 ～（135分）

[illegible]

■作品名：「石巻市立湊小学校避難所」（監督 藤川 佳三）

・藤川佳三監督プロフィール

1968年生まれ、香川県出身。中央大学社会学科卒。映画を志し知人の紹介で瀬々敬久監督に連絡をとったのがきっかけで助監督になる。

以後、フリーランスで劇映画、テレビの仕事に従事する。2001年「STILL LIFE」でぴあフィルムフェスティバル入選。その後、ドキュメンタリーを志向し家族の再生をテーマに自分の家族を撮影して「サオヤの月」を製作する。

・あらすじ

2011年3月11日。東日本大震災。宮城県第二の都市、石巻市の死者・行方不明者は3,779人。ピーク時には5万758人が避難所生活を余儀なくされた。4月21日。避難所の1つとなった旧北上川に近い湊小学校を藤川佳三監督は訪れた。監督が、いちばん驚いたのは避難所の底抜けに明るい様子。でも何日か過ごし てわかったのは、笑顔の奥底にしまいこんだ悲しみの大きさだった。そして思った。ずっと一緒に過ごさないとわからないことがたくさんあるのではないだろうか。それから避難所が閉鎖される10月11日まで6ヶ月あまり。そこに泊まり込み、避難者に寄り添いながら、カメラを回したヒューマンドキュメンタリー映画。

・URL：<http://www.minatohinanjo.com/>

・上映会場：米子コンベンションセンター小ホール（鳥取県米子市末広町294）

・上映時間：14：30 ～ 上映（135分）

